



あけましておめでとう！

「2112年ドラえもん誕生」によれば、

ドラえもんは、2112年9月3日、トーキョーにある

マツシバロボット工場で誕生しました。ドラえもんは、

実は人間の守り用として開発されたネコ型ロボットです。

そして、22世紀の野比家でのび太の孫の孫であるセワシの

子守りをしています。クリスマスの日、ドラえもんは、

ロボット養成学校校長の寺尾台博士より、

新しい四次元ポケットのプレゼントを受けとります。

その晩、ドラえもんは、タイムマシンに乗って

「セワシが幸せに暮らせるように最もできる悪い、

ご先祖様の歴史を修正する旅」に出かけます。

ドラえもんは、はるばる22世紀の世界からタイムマシンに乗って

20世紀の野比家に派遣されるころから「ドラえもん」物語は

始まります。「ご存知のとおり、ドラえもんのひみつ道具は、

あらゆる問題に対してもまく機能し、スムーズな解決への期待を

抱かせますが、最後はひみつ道具を使用して問題解決には

つながらない結果となります。つまりドラえもんの基本スタンスは

「ひみつ道具に頼らず、自立で問題解決に対処することが

ベストである」ことです。のび太にとってひみつ道具とは

あくまでも自分のいいところを伸ばしたり、少し足りない何かを

後押ししたり、潜在意識の中で眠っている優しい心を

呼び覚ましたりする、きっかけのような存在です。

のび太との結婚前日、不安を口にしたりすかちゃんに対し、

しすかちゃんのパパは「のび太君を選んだ君の判断は正しい。

のび太君は人の幸せを願い、人の不幸を悲しむことのできる人だ。

それが一番人間にとって大事なことからね。」多くの困難を

乗り越えて真の優しさや思いやりを身につけたのび太は、あこがれ

続けたマドンナしすかちゃんを射止め幸せな結婚生活を送ります。

あなたのそばにも私のそばにも、それぞれのドラえもんの

ひみつ道具がある気がいたします。

その力を借りて人生の困難を乗り越えて

2023年、笑顔で過ごせますように。

皆様、旧年中は大変お世話になりました。

今年もよろしくお願いたします。



皆様と令和5年の新しい年を迎えることが出来ました。本年もご利用者皆さまにあじさい園ショートステイをより安心して楽しくご利用いただけますよう職員一同つとめてまいります。よろしくお願いたします。

12月21日 食事会「キム千たご焼き鍋」 キム千鍋にたご焼きを入れた少し変わったお鍋を作りました。

思ったより美味しく食べやすい鍋になり、皆さんたくさん召し上がっておられました。

